

おこる

さみしい

えほん 『トゲトゲくんはね、』

クオン・ジャギヨン/文 ハワン/絵 いくたみほ/訳 パイインターナショナル



トゲトゲくんは、おこると、体のトゲがどんどん大きくなっていきます。トゲを大きくして、みんなをこうげきして、自分を守っているのです。

すると、みんなは、トゲトゲくんをこわがって、はなれていってしまい、トゲトゲくんはひとりぼっちになってしまいました。

ひとりぼっちになると、トゲトゲくんはさみしい気持ちになりました。本当はみんなとなかなかよくしたいのです。さて、この後、トゲトゲくんは、どうするのでしょうか？

ハラハラ
ドキドキ

ゆう気

えほん 『チムとゆうかなせんちょうさん』

エドワード・アーディゾーニ/作 瀬田貞二/訳 福音館書店

チムは船乗りになるのがゆめです。ある日、大きな船にないしょで乗りこみました。すると、船長さんに見つかってしまい、ただで船に乗るのならしっかりとらうようにと、おこられてしまいました。チムは、そうじをしたり、ごはんをはこんだりと、がんばってはたらいっているうちに、船乗りさんたちともなかなかよくなりました。

ところが、ある日、風が強くて、海があれだしました。大きな岩に船がぶつかってしまい、みんなボートにひなんしていくのですが、チムは取りのこされてしまいました…。一体、どうになってしまうのでしょうか？



かな
悲しい

おも
思いやり

しあわ
幸せ

あい
愛

ものがたり 『ふしぎの森のヤーヤー 思い出のたんじょう日』

うちだりんたろう/作 高島純/絵 金の星社



ふしぎな動物ばかりが住んでいるふしぎの森で、ある日、体は子ブタ、耳はウサギの男の子ヤーヤーがさんぽに出かけました。

すると、悲しい思い出しか持っていないイヌのカナシミさんと、思い出をすっかりなくしてしまったヒョウのノノさんがケンカをしていました。どちらが幸せなのかを言いあそびていたのです。

ケンカを見て悲しくなったヤーヤーは、自分の思い出をふり返ったり、お父さんとお母さんからの愛をたしかめたりしました。すると、幸せな気持ちになったのです。カナシミさんと、ノノさんも、幸せになることはできるのでしょうか？

やさしい

おも
思いやり

あたた
温かい

ものがたり 『チイの花たば』

森絵都/作 たかおゆうこ/絵 岩崎書店

チイのおばあちゃんは、お花やさんです。おばあちゃんは、お客さんの話をじっくりと聞いて、そのお客さんにぴったりの花たばをかんせいさせるのです。花たばを見たお客さんはみんな目をかがやかせてよろこんでくれます。

チイは、そんなおばあちゃんみたいなお花やさんになりたいと思いました。すると、おばあちゃんから、いつか花にためられる時がくると言われます。お花やさんになるためのテストのようなものだそうです。そのテストは、なんと、ゆめのなかで行われました。チイのところに、お花のことでなやんでいるお客さんが次から次へとやってきます。チイは、お客さんによろこんでもらえるような花たばを用意することはできるのでしょうか？

とてもやさしくて、温かい物語です。

